

令和4年5月18日

保護者 様

鴻巣市立吹上小学校
校長 清水 励

マスクの着用について

薄暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。
また、日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。

さて、コロナ禍での生活も2年余りの日が過ぎ、感染者数の増減はあるものの、いまだ予断を許さない状況が続いております。基本的な感染予防策として「マスクの着用」が習慣化し、学校においても基本的にマスク着用での活動を行っております。

マスクの効果については「飛沫の拡散防止」にあると考えております。それは、咳やくしゃみをした時やお話した時に、広範囲に飛沫を拡散させない効果です。マスクには、小さなウイルスを遮断する効果は期待できないかもしれません。ただし、1回の咳で約10万個、1回のくしゃみで約200万個のウイルスを放出すると言われており、マスクは、その飛沫の拡散防止に大きな効果があると考えております。

ただし、これからの高温多湿となる時期においては、マスクによる息苦しさや熱中症が心配されます。児童には、適切にマスクを外すことができるよう指導してまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

《マスクを外す、または「鼻出しマスク」にしてもよい時》

- 体育や休み時間に、外で運動や遊びをするとき。
- 登下校のとき。
- その他室内での活動時でも、息苦しさ等を感じたとき。



※人との距離をしっかりとること（手の届かない距離1～2m）。

※お話しする場合には、声の大きさに注意すること（大声を出さない）。

※咳やくしゃみが出そうになったら、腕で口や鼻を覆い、人のいない方向を向くこと。

マスクにもさまざまな種類のマスクがございますが、顔にぴったりとあった大きさの「不織布マスク」が最も高い効果があるとのことですので、「不織布マスク」の使用をお勧めいたします。

また、布マスク等を使用される時には、毎日洗濯を行うなど、衛生面への御配慮をお願いいたします。

この文書についての御意見や御質問等がございましたら、浦山（教頭）までお問合せください。

（鴻巣市立吹上小学校 548-0132）